

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月09日

計画の名称	富士吉田市「富士の水資源浄化計画」その2（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	富士吉田市												
計画の目標	下水道の整備を行ない、富士山の水資源の安全・安心を実現し、富士の麓の快適な暮らしを創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,340	A	1,340	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率の増加			
	下水道処理人口普及率	42%	43%	45%
	下水道処理区域内人口（人） / 行政区域内人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士吉田市	直接	富士吉田市	管渠(汚水)	新設	富士北麓処理区(普及促進)	L=7.0km	富士吉田市						1,173	-	
	A07-002	下水道	一般	富士吉田市	直接	富士吉田市	管渠(汚水)	新設	桂川処理区(普及促進)	L=0.7km	富士吉田市							100	-
	A07-003	下水道	一般	富士吉田市	直接	富士吉田市	管渠(汚水)	新設	施設計画策定事業	効率的な事業実施のための計画策定	富士吉田市							67	-
											小計							1,340	
											合計								1,340

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
庁内関係課と外部識者より評価員を選定し事後評価を実施。	事業終了年度の翌年度（令和7年度）
	公表の方法
	ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道供用開始区域が632haから663ha（31ha増）、下水道処理人口普及率は42%から44%に増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>下水道処理人口普及率は44%となっており、今後も未普及地域の積極的な整備が求められる。          下水道整備については人口集中地区など効果的なエリアを優先的に整備を進めていく。また、市の区画整理事業や道路改良工事と併せて下水道を敷設するなど効果的に整備区域の拡大を図っていく必要がある。          さらに、PR活動等を積極的に実施し供用区域の水洗化の向上を図り、整備した施設を有効活用してもらうよう努めていく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	45%
	最終実績値	44%
		一部整備区間において岩掘削等による事業費の増加、及び物価高騰による事業費の増加により当初の計画に比べて整備量が減少してしまった。そのため、予定通りに進捗が伸びず目標を下回る結果となった。